

へき地医療、地域医療というそのイメージはどうしても「赤ひげ先生」的な医師像ということになる。もちろん「赤ひげ先生」は賞賛されるべき、求められるべき医師像だろう。しかし、100点満点の「赤ひげ先生」を求めても、残念ながらへき地に医師を招くことは非常に困難なのが現実だ。24時間365日地域を離れて患者を診察できなかつたら後ろ指をさされることを想定した時、また技術の習得や子供の教育などの将来設計を考えた時、どうしてもへき地での勤務には二の足を踏んでしまう。へき地の「赤ひげ先生」は、若い医師の求める医師像と乖離してしまっているのだ。たしかに、以前は大学医局からの医師派遣がへき地医療を支えていた部分が少なからずあった。しかし、現在はへき地に限らず都市部でも医師不足で、なかなか大学にも医師が集まらない。へき地から大学へ医師が引き揚げられるという報道も頻繁に見聞きする。「大学には頼れない」「赤ひげ先生もいない」「医師の強制配置など夢の話」。これが北海道の地域医療の現実である。

しかし、そもそも、「短期限定」であればへき地に

赴きたいと思う医師は少なくないのも現実なのである。北海道の豊かな自然の中では、小さな子供のびのびと育てられるし、週末ごとに道北、道東など北海道の各地を子供と一緒に周遊するなどというのは、道外の医師にとっては非常に贅沢な生活でもあるのだ。北海道の魅力を「いいとこ取り」してもらい、子供の就学・勉強が問題になる時期になったら、気持ちよく都会に帰ってもらおう。この「短期限定が前提で地域住民の期待に対する責を負わなくて良い」という保障。これがあるからこそ、気軽にへき地へ赴けるのではないだろうか。

事実、今夕張には若い医師が集まっている。みな、短期限定が前提である。後任の医師も希望が絶えないのが現状だ。

日本は今後、人類史上例のない超高齢化と高騰する医療費の津波に襲われる。北海道は、国家存亡の危機を迎える日本全体の未来を指し示す「道標」になるべきだし、北海道こそがまさにそれに相応しい地域だろう。北海道の医療の未来はそこにこそあるのではないだろうか。

崩壊を経験して

胆振西部医師会

洞爺湖温泉診療所 所長

松山友彦

洞爺湖を望む場所にあるわが診療所はいたってのんびりとやっている。北海道の医療崩壊の特集で苦しい現状の報告をとの依頼であったが、医療崩壊、医師不足、疲労感や徒労感とはほぼ無縁である。

以前、夕張の市立病院で副院長をやり、最後に閉院までつきあったときにはさすがに周りは皆、疲労感、徒労感、そして不安でいっぱいという感じであったと記憶している。ちょうど、赤字再建団体となることが決まり、65歳以上の人口が40%を超えるという時期に勤務していたので、そういう意味では医療が崩壊する様はよく知っている。

夕張では独居の老人の比率が極端に多く、市としては高齢化率が当時（今でもそうかもしれないが）日本一であった。救急車で運ばれてくる高齢者は脳梗塞だったり、肺炎だったりすることが多いが、最初の原因は不明で、脱水などで歩けなくなって近所の人を救急車を要請するなどというパターンも多かったと記憶している。そして、病院では肺炎や脱水の治療はできても社会復帰できるまでのリハビリテーションなどは、主にマンパワーの問題で不可能であった。退院もさせられず、ご家族も遠方であて

にならず、そのうち皆、寝たきりにしてしまい、自分の首を絞めている始末であった。

再建団体となることが決まってから、知事や道議、中央からも副大臣が来られるなどあり、マスコミにも対応していたが、副大臣について来られた某省庁の方と二、三度メールで意見交換をした。詳細は記憶にないが、彼が“限界集落”という言葉を使ったのが印象に残っている。人口が減少し、高齢化が進み、コミュニティを維持することさえ不可能となりつつある町という意味で受け取った。実際、もう何年も前から夕張市は“限界集落”であったのだ。動けなくなるまで独居を続け、限界になってなぜか病院に運ばれてくる高齢者は、確かに“限界集落”の住民というにふさわしかった。

夕張市やその歴史を辱めるつもりはない。炭坑がすべて閉山となれば、農業以外に産業はありえず、農地もさほど広くない川沿いの町はそれなりの規模に収縮すべきであったのを、国の補助金などを使って延命しようとするから苦しいのだ。

魚は野生動物で年に8,000万トンも捕るのは捕り過ぎで漁業には限界があると思う。農業も国際的な市場と無縁ではいられない。効率化が進めば、むしろ農村の人口は減るのが正しいと思う。医療をその歴史の流れにあわせるべきであろう。農業や交通の発達で都市国家が生まれ、分担と余剰によって文明は生まれた。へき地が困る、救急が苦しいというなら、ヘリコプターでもオスプレイの民間型でも使って距離を埋めればよかろう。新医師臨床研修制度などに文句を言っても始まらない。